

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 729 号  
2022年3月1日  
発行  
アスカ工業株式会社  
〒444-0303  
西尾市中畑町卯新田上28

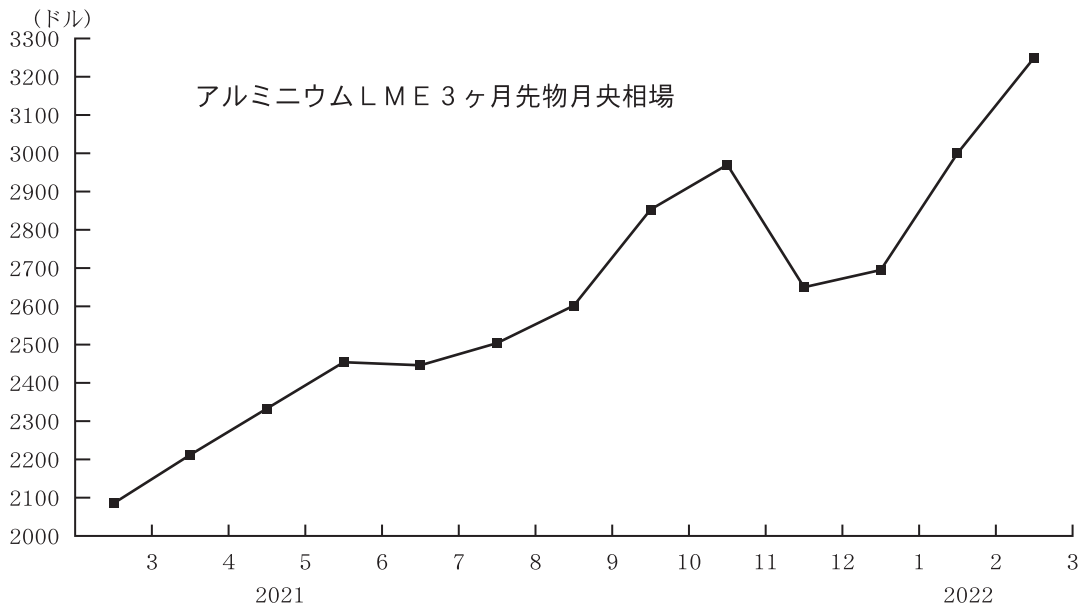
## アルミニウムLME相場 14年ぶりの高値圏

国際指標となるロンドン金属取引所（LME）のアルミ地金相場は、10日にトン当たり3300ドル台に上昇し、2008年以来の高値をつけました。欧米によるロシアへの経済制裁により、アルミ供給の減少懸念が高まり、需給の逼迫が警戒されています。

市場では原油や石炭などの化石燃料の高止まりにより、電気を大量に消費するアルミ製錬コストが上昇していることも相場の強材料となっています。また、中

国では冬季北京五輪・パラリンピックの開催に伴い、大気汚染防止の為に経済活動が制限され、石炭火力発電やアルミ製錬にも支障が生じていることも、相場を押し上げる要因になっていると見られます。

ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、世界生産の5%を占めるロシアからの供給不安が続く中、最大消費国の中国の春節が明けて大口需要家が市場に復帰すれば上昇に弾みがつく可能性もあります。



休日のご案内

カーメーカーの世界的減産を受け、3月も2月同様に生産調整を行います。尚、出荷業務は通常通りに行います。

## 2022年 今年の経済展望 アフターコロナに向け加速、4月以降明るい見通し

西尾信用金庫、西尾商工会議所、西尾法人会主催の新春経済講演会が10日、西尾市花ノ木町の西尾コンベンションホールであり、梅村学園常任理事で中京大学経済学部客員教授の内田俊宏氏が「2022年 今年の経済展望」と題して話した。内田氏は、物価高に懸念を示しながらも、新型コロナウイルス感染症に関する規制緩和やワクチン3回目接種の広がりなどを要因の一つに挙げながら、「4月以降はかなり明るい見通しが期待できる」と展望した。

### 足元が景気のボトム

同講演会は今回で16回目。内田氏は「コロナとの共生で、場合によっては年内の指定感染症の見直しが行われる可能性が高いとみている。春以降の回復が見込まれているが、足もとでは、1、2月が今年の景気のボトムになるだろう。背景には、米国の中間選挙もある。少なくとも2月の五輪期間から3月くらいまではコロナに対する厳しい姿勢を崩すのが難しい流れで来ている。しかし、コロナの治療薬の承認やワクチンのブースター接種の広がりなど、4月以降はかなり明るい見通しが期待できる」と切り出した。

消費者物価指数について「携帯電話料金の引き下げが1.5ポイント全体を押し下げている。無ければ2%近い物価上昇となっている」と述べ、資源高や穀物高、物流の混乱などの影響で物価高は年内まで持続する可能性が高いと予測。円安傾向が続いている為替相場も、米中や米口の緊張感の高まり次第では円高に振れると強調した。

また「入国禁止措置などコロナの規制を緩和しながら、インバウンドも含めて4月以降に景況感にプラス材料がある。4-6月期、7-9月期あたりでGDPを押し上げる効果が出てくる。10万円の給付があったが、3、4月あたりで支出に回る可能性があり、GOTOキャンペーンの再開などととも、4-6月期以降は一気に景気を引き上げる流れで動いている」と述べた。

### デジタル化などは定着

「デジタル社会や巣ごもり消費に対応していくような経営やまちづくりが不可欠となっている。アフターコロナは、コロナの影響が軽減されてきても、断続的にデジタル化や巣ごもり消費は定着するとみている」



内田 俊宏 氏

と、コロナ禍による規制緩和後の消費動向を推測した。

コロナ禍に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置、米国の中間選挙や国内の参院選、ウクライナ情勢が経済に与える影響を紹介。またこれまでの国内の景気動向や国内の個人消費、住宅投資、企業の設備投資の動向などを解説した。

為替相場や株価については、米中や米口の緊張状態の影響次第とした上で「一時的に安全資産として円が買われる場面が出てくる。基本的には円安だが、急激に円高に向かう時がある。GDPは4月以降上がってくるが、夏場を中心に少し株価が乱高下するのではないかと話した。

### 物価高の影響懸念

賃上げ率については「昨年は上回るが、行っても2%程度だろう」と予測。その上で「今年は、実質賃金はマイナスの月がかなり多くなり、家計にとっては正念場になる」と述べ、生鮮食品やエネルギーを含めた消費者物価指数の上昇が経済に与える影響を懸念した。

今年の景気見通しについて「1-3月期が今年の景気の大底になるだろう」とした上で、「4-6月期以降、経済活動の制限が緩和・解除され、強制貯蓄の3分の1程度でも消費に回れば個人消費を押し上げながら、GDPが上がってくるとみている。3回目のワクチン接種の広がりや治療薬が承認されることによって、安心感が得られて外出自粛をしない人たちが徐々に増える可能性が高い。2022年度、日本経済の成長率見通しは、政府見通しのプラス3.2%を上回る可能性も十分あるだろう」と話すなど、今年の経済展望を語った。

(三河新報2月13日号記事より)

# コロナ禍における海上輸送物流の状況

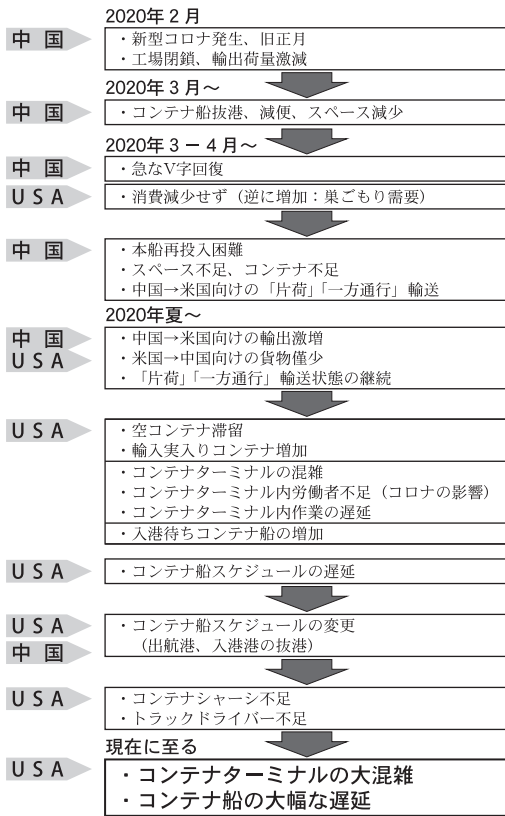
ジェットロ名古屋 貿易投資アドバイザー 桐山行彦氏

2月16日に西尾商工会議所において、海外問題委員会と経営問題委員会の合同ビジネスセミナーが開かれました。

今回はオンラインセミナーで、ジェットロ名古屋から桐山行彦氏に「コロナ禍における海外輸送物流の状況について」説明を頂きました。

## LA, LB港の大混雑と経緯と現状

※LA：ロサンゼルス LB：ロングビーチ



## 海上コンテナ不足の原因

### COVID-19以前から新造コンテナの生産量低下

- ・2019年に新造コンテナ生産量が前年比40%減と激減
- ・2020年はCOVID-19の先行き懸念とコンテナ生産工場稼働率が大幅に低下し、コンテナ不足に陥る。

### アジア発北米向け貨物の急増

- ・中国で自動車、機械、電機などの生産がV字回復
- ・米国の巣ごもり消費で、家具、玩具、家電等の輸入増加
- ・米国LA・LB港のコンテナ貨物量が急増し対前年水準を超える

### 港湾作業員不足によるコンテナ処理能力低下

- ・米国コロナ感染拡大でLA・LB港の港湾作業員不足
- ・LA・LB港でコンテナ滞留・港湾混雑が発生
- ・世界主要港に連鎖し、海上輸送の遅延と待てちの深刻化

欧米で空コンテナが滞留し、アジアにコンテナが回送されない

- ・欧米で空コンテナが、内陸のデポや倉庫等で滞留する
- ・アジアにコンテナが回送されず、コンテナ不足に陥る

## 海上コンテナ不足の原因

- 2021年10月 24/7オペレーション（バイデン大統領令）
- 2021年11月 LALB滞留コンテナ課徴金（Container Excess Dwell Fee）
- 2022年2月 旧正月
- 2022年7月 北米西岸港湾労使交渉（ILWU vs PMA）

- ▶荷動きは2022年も一定の増加の予測
- ▶船腹（新造船）が増えるのは2023年以降
- ▶正常化に向かうのは早くとも2022年前半以降
- ▶本格的な正常化は2023年以降か

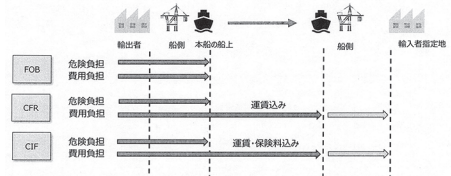
## 船会社の傾向

- ▶多くの荷主からの引き合いがますます増える
- ▶儲かる航路サービスに注力したい
- ▶新規のセールスは困難、既存顧客の対応で手いっぱい

## 今後の対策案

- ✓オーダーは可能な限り早めに入れる
- ✓在庫は多めに持つ
- ✓リードタイムは長めに計算する
- ✓長い付き合いを大事にする
- ✓混載を上手に利用する
- ✓サプライチェーンの複数化
- ✓アジアハブ港経由ルートの利用（釜山港、上海港等）
- ✓在来船、RORO自動車専用船の利用

## 輸出者の負担費用の範囲（インコタームズ2020）【現状】

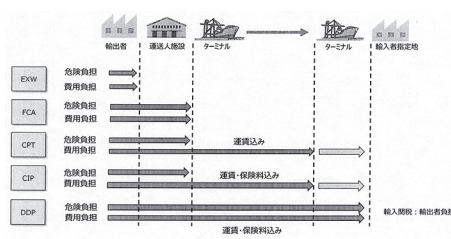


**インコタームズ (Incoterms: International Commercial Terms)**

国際商業会議所が制定した貿易取引条件とその解釈に関する国際規定

- ▶売主・買主間の物品の引き渡しに関する危険の移転の分岐点、役割や費用の負担区分（運送の手配と運賃の支払い、保険の手配と保険料の支払い、通関手続きと費用など、それぞれの規則の下で売主・買主が行うべき義務をまとめた取引条件。
- ▶実務上は高習慣的にFOB, CFR, CIF条件などが使われているが、コンテナ船ではFCA, CPT, CIPなど新しい取引条件を使用することが推奨されている。各条件の費用負担について把握することが重要。
- ▶支払われるべき代金や支払い方法、物品の「所有権」の移転時点、契約違反の結果に関しての定めはない。

## 輸出者の負担費用の範囲（インコタームズ2020）【将来】



## 三河湾のしおひがり

西尾市では、3月から7月頃まで三河湾に面した8ヶ所で潮干狩を楽しみことができます。海のきれいな三河湾のアサリは、ぽっちゃり型で甘みがあり、知る人ぞ知る春の味覚として有名です。

潮干狩が楽しめる時間帯は、日付、場所によって異なりますので干潮時刻をご確認ください。干潮の2時間前程度から干潮までが最適です。ただし、土日・祝日は交通渋滞の可能性がありますのでご注意ください。



〔西尾観光ガイドマップより〕

## 社内情報

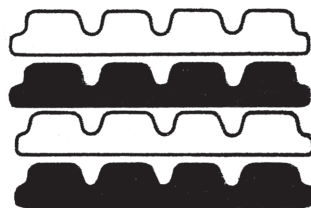
- ◎カーメーカーの減産が続きます。秋の減産に続き、2月、3月も生産調整日を設けます。皆様、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。
- ◎年が明けてもコロナウイルス新株感染拡大により、リモート会議は主流になりつつあります。
- ◎寒い日が続きますが、日足は伸び、春の訪れは間近です。隣接する矢作川の堤防が若芽で美しく化粧する好季節ももうすぐです。

## 編集後記

- ▣熊本産アサリの偽装問題の影響で、愛知ブランドアサリが脚光を浴びています。三河湾のアサリも年々漁獲量が減少しています。全国的に深刻な問題です。
- ▣ウクライナ情勢が緊迫化しています。西側諸国はロシアに対して大規模な経済制裁を科す方針です。
- ▣新春経済講演会では内田先生展望「明るい見通し」でしたが、果たして景気ボトムから上手く飛躍できるのか。心配の種が増えてきました。

## アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)  
**アスカ工業株式会社**

〒444-0303  
愛知県西尾市中畑町卯新田上28  
TEL <0563> 77-0500(代)  
FAX <0563> 77-0501  
<http://www.al-asuka.jp/>